

# 世界最大級の新聞印刷会社が創る新しい新聞のカタチ TONICHI、高知のポップアップイベントに初出店

～新聞紙から生まれたサステナブルなラッピング＆ぬりえ～

世界最大級の新聞印刷会社である東日印刷株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：西川光昭、以下 TONICHI）は、2026年1月15日（木）～19日（月）に高知県で開催されるポップアップストア「日本の良いモノ。高知の良いモノ。」に出店いたします。今回のポップアップでは、TONICHI が新聞印刷の現場から生まれたアップサイクル商品、デザイン新聞「つつむ」や「とにかく大きい新聞ぬりえ」を販売します。当社にとって百貨店への出店は今回が初めて。さらに、東京・神奈川以外では初の地方出店となり、高知の皆さんに直接販売させていただきます。素材感や使い心地を、どうぞ直接手に取ってご体感ください。



## 新聞から生まれた、やさしい紙の贈り物

TONICHI が手がけるデザイン新聞や新聞ぬりえは、新聞印刷の過程でどうしても発生してしまう未使用の新聞用紙を、「もう一度“使われる紙”へと生まれ変わらせたい」という思いから誕生しました。長年新聞印刷に携わってきた会社だからこそ、新聞の風合いや手触り、文化そのものを大切にしながら、新聞が若い世代やお子さまにも親しんでいただける形を目指しています。「捨てられてしまう紙に、もう一度役割を」——そんな想いで、アップサイクル事業を続けています。



〈本件に関するお問合せ〉

東日印刷株式会社 プロモーション本部

[tonichi-printing.co.jp/inquiry/for-media](http://tonichi-printing.co.jp/inquiry/for-media)

「TONICHI 報道問い合わせ」で検索してください

# 世界最大級の新聞印刷会社 東日印刷（TONICHI） デザイン新聞「つつむ」と「ぬりえ」誕生秘話



## 本物の新聞をつくる会社が、新聞愛を込めて

1952年創業のTONICHIは、現在も毎日新聞やスポーツニッポン新聞など90紙以上の新聞を印刷しています。洋紙や和紙の包装紙は数多くありますが、新聞紙を素材にしたラッピングペーパーはとても珍しい存在です。デジタル化が進み、新聞に触れる機会が減る中でも、「新聞って、やっぱりいいな」「紙のぬくもりって、心地いいな」そう感じてもらえるきっかけになれば——そんな想いから「つつむ」は生まれました。

## 新聞らしさを、あえて残したサステナブルな素材

「つつむ」と「ぬりえ」は、本来であれば廃棄されるはずだった紙を活用した、環境にやさしいアップサイクル商品です。「つつむ」では、白フチや断裁時に生まれるギザギザ、色調整のためのマークなど、新聞ならではの特徴をあえて残しています。その素朴さや温かみが、「贈り物を包むのにちょうどいい」と好評です。

## 心ときめくデザインの「つつむ」と、子どもから大人まで思いきり楽しめる「ぬりえ」

「つつむ」は、思わず選びたくなるデザインバリエーションを多数展開。ラッピングはもちろん、ブックカバーや工作など、使い方は自由です。「とにかく大きい新聞ぬりえ」は、「思いきり、のびのび描いてほしい」という想いから、新聞を広げたときと同じくらいの大きさでご用意しました。子どもから大人まで、新聞サイズならではのダイナミックさを楽しんでいただけます。